

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 484

平成20年 9月16日(火曜日)

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区堂島2-1-31 ORIX堂島ビル5F
 Tel.06-4799-2004 Fax.06-4799-0539

人事

「指示待ち」型社員を意識改革 週1回部長面談で挑戦心を後押し

昭和を代表した松下幸之助、本田宗一郎両氏の信条は「やってみなはれ」と「人真似はするな」だった。松下電器は失敗を恐れず「まずやってみる」挑戦心を大事にする。ホンダはエンジンの改良に心血を注ぎ、ターボエンジンのような既存の過給機などを排除した。

島津製作所(京都市、従業員3100人)は計測機器、医用機器などの総合精密機器メーカーだが、“世界の島津”としてその名を知られたのは02年、同社の研究者である田中耕一氏がノーベル賞を受賞してからである。“ノーベル賞効果”で理工系学生が全国から応募、約30人と採用数が前年までと比べ倍増した。

しかしここで悩みが生じた。若手技術者は指示された仕事は的確にこなすが、問題発見や研究テーマを自ら設定するような意識が減り、冒険しない「指示待ち」型が増えてきたのである。学会への発表や特許出願件数が減っているわけではないが、このままでは自由闊達さ、独創性、創造力が削がれる企業風土を心配している。そこで「指示待ち姿勢」をどう減らすかが課題となった。

07年頃から統括部長が技術者と週1度、ひざ詰め面談で話をする。時には相談に乗り愚痴も聞く。その中から本人のやりたいこと、やるべきことなどを導き出し、挑戦心や独創性を後押しする。大企業にありがちの「安全志向」に陥らず、いかに挑戦心を持続させるかを意識し、入社式で社長は「失敗を恐れるな」と鼓舞した。

税務会計

減価償却はできない「書画骨董」 1点の価格が20万円未満ならOK

会社が、殺風景な社長室や応接室を絵で飾ったり工芸品を置物にしたりするのは良くあることだが、こうした場合の絵画や工芸品などの購入費用は無条件に必要な経費とすることはできないので注意したい。

税務上、購入した絵画等が「書画骨董」に該当するかどうかで処理が異なってくる。書画骨董に該当すると、時の経過によってもその価値は減少しないものとして、減価償却資産とはならないことになる。

税法では、古美術品、古文書、出土品、遺物等のように歴史的価値または希少価値を有し、代替性のないもの、美術関係の年鑑等に登載されている作者の製作に係る書画、彫刻、工芸品等は書画骨董に該当し、非減価償却資産とされている。ただし、書画骨董に該当するかどうか明らかでない場合は、1点の価格が20万円(絵画については号2万円)未満のものは書画骨董に該当せず、減価償却資産として扱われる。

このように、オフィス内の装飾目的で購入した絵画等であっても、書画骨董に該当すると、その購入費用を必要経費にはできないわけだ。もっとも、セザンヌやゴッホなどの有名作家のものであっても、複製画のように単に装飾目的にのみ使用されるものは、時の経過により価値が減少するものと考えられ、減価償却資産として、価格が10万円未満のものや、青色申告法人であれば30万円未満のものは一括損金経理することができる。

今週のキーワード

ノーベル賞効果

ノーベル化学賞を受賞した田中さんは、これまでの日本人受賞12人の中で唯一のサラリーマン。化学賞は4人目。受賞が決まる前の02年春の採用はわずか14人だったが、05年採用は34人と倍増し現在も30~50人採用している。志望理由の多くは「第二の田中さんを目指す」だった。島津製作所の業績は北米・アジアの市場開拓が功を奏して、売上高(08年3月期・約2,900億円)や株価は05年以降、右肩上がりを示し、グループ企業連結で従業員が8,000人を超えている。